



パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で繋がりをより深めあおう

パワー浜松ロータリークラブ (2015-16年度 会長: 知久 武 幹事: 鈴木 尚孝)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第603回例会 11月17日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 田中紀春 加藤ひとみ ●点鐘: 知久武
- ゲスト: 金本一夫様 米山記念奨学生 于春蘇さん
- 議事: 国際奉仕PJ「古美術「坐忘」店主 金本一夫様の卓話」

〈出席報告〉

会員数 75名
出席数 63名 出席率 84.0%
前々回出席率 85.52%

■会長挨拶 知久武会長

クリスマス家族例会が近づいてきました。他クラブでは家族参加が9割くらいと聞きます。高木年度の運動会では多くの家族参加がありました。多くの家族に参加していただきたいです。

行徳哲男さん(松岡修造氏、王貞治氏等の師)の話で、眉間にシワを寄せない事を心がければ良い人生になるとの事です。毎日、鏡を見て眉間に縦シワを作らない様に心がけています。

■幹事報告 鈴木孝尚幹事

- ・クリスマス例会のご案内
- ・ロータリーカードの入会案内

■委員会報告

- ・親睦委員会 五十嵐晴巳会員
12月19日クリスマス例会のご案内
- ・会員増強維持委員会 小田木基行会員
4名の新会員承認が取れました。12月入会に向けオリエンテーションを開催します。
- ・ゴルフ同好会 後藤達郎会員
11月29日青空例会を開催致します。

■議事

李朝白磁について 金本一夫様卓話

担当: 国際奉仕プロジェクト

古美術に関心のある方は「李氏朝鮮の文物」を「リチヨウ」と親しみをもって表現します。「李氏朝鮮」とは「李氏朝鮮王朝」を指します。15世紀から20世紀初頭までの時代をいい、500年という長い王朝が続きました。その王朝のために作られた工芸品の中でも、日本人が最

も好んだのが「白磁」です。骨董好きが最後に手元に置くとしたら古信楽と李朝白磁といいます。

民芸で有名な柳宗悦が李朝を見て激賞したことに始まります。「白磁の人」といわれた浅川巧や、その兄である浅川伯教は日本が植民地であったころに朝鮮に渡り、李朝に目を向けました。そして柳に一つの李朝を手土産に置いていきました。それが世間に広がっていったのです。彼の影響か文芸評論家の小林秀雄や青山二郎、そして白洲正子など著名な人々が李朝白磁を手元に置き愛玩しました。不思議なことに韓国人よりも日本人の方が「李朝の美」を見つけたのではないかとわれています。

歴史と関わりなく李朝白磁を手にとると、静かに語りかけるものがあります。それは「心を映す」ということです。精神の在りかたを日本人は物に置き換えます。人は短い時を生きます。そこに時と物とを交信させる力を日本人は持っています。その試金石が李朝白磁であったともいえます。



本日は数点の「李朝白磁」をお持ちしました。